



Ⅸ 資料

1 平成28年度年度計画

I 大学の教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の内容及び成果に関する目標を達成するための措置

ア 特色ある教育の実施

- 平成28年度に導入した新カリキュラムを旧カリキュラムとともに着実に実行する。
- 平成27年度までの効果検証、授業実施状況から抽出された学部及び研究科ごとの課題を踏まえ、横断型連携教育を実施するとともに、公開発表会のアンケート等による効果検証を継続して行う。
- 博士前期課程における研究科連携科目について、授業評価アンケート等を用いて検証を行う。
※指標：学部及び研究科における横断型連携教育の効果検証の実施 28年度
- 博士後期課程について、設置認可申請に基づいた教育を引き続き展開する。
- 博士前期課程を修了する学生に対するアンケートを実施し、博士前期課程教育の検証を引き続き行う。
- 平成28年度からグローバルな人材育成教育に係る授業内容を含めることとした科目以外についても、異文化への理解と関心を高めるといふ本学のグローバル人材育成方針に基づき、授業内容について検討を行い、既存の科目の中から対象となる科目の拡充を目指す。

イ 時代に即した教育課程の編成

- 全学共通のディプロマポリシー（学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）及びアドミッションポリシー（入学者受入の方針）の策定に向け、検討を行う。
- 学部及び研究科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーについて、学生の理解を深めるためガイダンスで説明するとともに、引き続きシラバス及び本学ウェブサイトで周知する。
- 卒業時の学生に対するアンケート等に基づき、学部生の卒業時の学習到達度の検証を継続して実施する。
- 学部の科目ナンバリングに加え、専攻科・研究科の科目ナンバリングをシラバスに掲載する。

ウ 入学者選抜方法の検証と見直し

- 各入学者選抜方法を検証するため、志願状況（小論文又は実技の科目選択状況を含む。）及び入学者アンケート結果について多角的な視点から分析を行うとともに、平成19～27年度入学者の入学後の成績等を基に、追跡調査を引き続き行う。
- 高校生、保護者等へ本学の活動内容を周知するため、オープンキャンパスの開催、進学相談会、出前授業等への参加により多様な機会を設けるとともに、高等学校の教員を対象とする大学説明会を継続して実施する。
※指標：オープンキャンパス受入計画数 延べ960名
- 本学に関心をもってもらうため、各学部において中学生を対象とした模擬授業や大学見学などの広報活動を継続して実施する。

エ 教育方法の改善等

- 平成25年度に導入した、1年次における半期ごとの登録単位の上限の適切性について、学生の履修状況及び単位修得状況を継続して調査する。



- ・ 各学期で実施しているGPA¹制度を活用した履修指導について、継続して実施する。
 - ・ 公平かつ適切な成績評価を実施するため、各科目における成績評価基準や成績評価の状況を検証する。また、併せてルーブリックの導入に向け、適用試行科目を拡大するとともに、成績評価の妥当性について検討を継続する。
 - ・ 学部連携演習の評価基準及び評価方法について、継続して運用し、その運用状況を検証する。また、スタートアップ演習での活用も検討する。
- ※指標：成績評価の検証 28年度

(2) 教育の実施体制に関する目標を達成するための措置

- ・ 授業評価アンケートを継続して実施するとともに、卒業時の学生に対するアンケートを実施し、その結果を教員へフィードバックする。
- ※指標：授業評価アンケート 学期ごと実施
卒業時の学生に対するアンケート 年1回実施
- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、平成27年度までに開催したFD研修会及びFDマップを基に、平成28年度FD²研修会実施計画を策定し、成績評価・授業方法等の改善に資するFD研修会を計画的に実施し検証を行う。
- ※指標：FD研修会開催 10回以上

(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- ・ 「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」によるコンソーシアム構築を通じて培われた産業界とのつながりを活用し、適切に連携しながらインターンシップ推進を含めたキャリア支援を継続する。
- ・ 通年のキャリアガイダンスを継続し、各学部の特性・特徴や学生のニーズに合ったキャリア支援の取組を行う。
- ・ 平成27年度に本格導入したポータルシステムの学生への情報伝達状況について検証する。
- ・ 留学生を対象にしたチューター³制度を継続して実施するとともに、留学生及びチューターとなった学生からの意見聴取等によって得られた課題に基づき、支援内容の充実を図る。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置

- ・ ウェルネス等のデザイン分野と看護分野が連携した研究など、分野横断的な研究を推進する。
 - ・ ウェルネスに関わる研究について、更なる深化とネットワークの充実に取り組む。
- ※指標：デザイン分野と看護分野が連携した研究数 6件
- ・ 今後の分野横断型連携を視野に入れながら、科学研究費補助金申請率向上に向けた支援策を検討・実施する。
 - ・ 科学研究費補助金の新規応募及び継続申請を合わせた申請率77%を達成する。
- ※指標：科学研究費補助金の新規応募及び継続申請を合わせた申請率 77%
- ・ 分野横断型連携を進めながら質の高い研究を推進するため、利益相反や研究倫理について意識向上を図る。
 - ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」を継続し、教員の研究成果を、評価の高い学術誌や著書、国際学会・国際展示会等に積極的に発表することを促進する。

1 GPA (Grade Point Average)

授業科目ごとの成績評価に対して、GP (グレードポイント) を付し (例えば、5段階 (A、B、C、D、E) の成績評価に対し、4、3、2、1、0 の GP)、この単位当たりの平均を算定し、その一定水準を卒業などの要件とする制度。

2 FD (ファカルティディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。

3 チューター

入学後間もない外国人留学生に教育面、研究面、生活面の様々な助言を行う者。



- ・ 「学術論文掲載料等補助」の制度改正を検討するとともに制度を周知徹底し、国際学会誌への発表を促進する。

※指標：国際学会等における発表件数 8件以上

(2) 研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置

ア 地域連携の強化

- ・ 産学官の出会いの場となる展示会や交流会への出展・発表を支援し、本学のPR活動、産学官連携活動を促進する。

- ・ 「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」を継続して発刊し、地域連携の強化へ向け活用する。

※指標：共同研究・受託研究の数（研究支援目的の寄附金を含む）14件／年

- ・ 産学連携・社会貢献の促進、研究・教育の実践を進めるための外部機関や他大学等との連携の場として、サテライトキャンパスを活用する。

※指標：地域連携研究センター等による、外部機関や他大学等との連携の場としての活用150件以上／年

II 地域貢献、国際化、大学間連携に関する目標を達成するための措置

1 地域貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 札幌市等のまちづくりへの貢献に関する目標を達成するための措置

- ・ 学内の地域貢献に関わる情報の集約と発信に積極的に取り組む。その際、本学の地域貢献の事例を分かりやすく学外に発信する。

- ・ 産業界とのネットワークを活用し、産学連携等に関わる情報を入手し、学内に発信する。

- ・ 札幌市の地域課題の取組（オリンピック・パラリンピックや札幌国際芸術祭など）に協力する。また、周辺市町村と連携し、地域創生に向けた諸活動に取り組む。

- ・ 看護系大学教員や臨床看護師との研究を推進するとともに、看護コンソーシアム共同研究拠点の整備について検討を行う。

- ・ 学内のシーズ発掘に取り組むとともに、教員の研究成果の公表等、ネットワークづくりに向けた取組を進める。

- ・ 北海道立総合研究機構等と連携して研究に取り組むとともに、セミナーや講演会等を開催する。

※指標：まちづくりに貢献した事例数 100件以上／年

(2) 市民への学習機会の提供に関する目標を達成するための措置

- ・ 公開講座の充実を図り、受講者の満足度をアンケート等で確認する。

※指標：公開講座受講者満足度5段階評価 4.3以上

- ・ COC事業⁴として実施する公開講座と連携する。併せて、公開講座の対象者別の実施状況を検討し、地域連携研究センター主催企画の内容を充実させ、大学の知的資源の地域への還元に取り組む。

- ・ COC事業と連携し、デザイン及び看護の専門職向けの公開講座の継続的な実施を行う。また、認定看護管理者教育課程サードレベル等の専門職業人を対象とした支援講座等を実施する。

※指標：専門職業人支援講座等開催 190時間以上／年

2 国際化に関する目標を達成するための措置

- ・ 国際化に関する方針で掲げた4つの戦略である「学生の国際化」、「教職員の国際化」、「提携校との交流の活性化」、「海外とのネットワーク化」を推進する。

- ・ 海外提携校との交流活動を引き続き推進する。

4 COC事業（地（知）の拠点整備事業。COC = Center of Community）

文部科学省が、自治体と連携し全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学等を支援する事業。本学の「ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業」が平成25年度に採択された。



- ・ 留学生の派遣・受入れ及び学生の国際意識の醸成につながるよう、海外提携校を中心とした学生及び教員の海外への派遣と受入れを実施する。
- ・ 承德医学院（中国）との短期受入プログラムの実施、華梵大学（台湾）で開催される「SCU-HFUワークショップ」への派遣、清華大学（中国）主催の「ワークショップ」への派遣等、提携校との交流を推進する。
- ・ 平成27年度に学术交流協定を結んだラップランド大学（フィンランド）との具体的な交流プログラムを立ち上げる。
※指標：教員・学生派遣受入 20人以上
- ・ 共同研究費募集の際に、海外提携校及び提携の可能性のある機関との取組について積極的に募集する。

3 大学間連携に関する目標を達成するための措置

- ・ これまでの「地（知）の拠点整備事業」や「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」において連携した大学や、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」により協定を締結した大学を中心に、連携した取組を引き続き検討し、大学間ネットワークの形成を進める。

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

1 運営体制・手法に関する目標を達成するための措置

(1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- ・ 平成25年度に策定した実行プログラムを踏まえ、第二期経営戦略の計画的な推進に継続して取り組む。
- ・ 平成25年度に新設した経営会議、教育・研究企画会議、学外連携企画会議を機動的に開催・運営し、理事長（学長）のリーダーシップが適切に発揮できるように引き続き取り組む。

(2) 教職員の配置・定員の適正化に関する目標を達成するための措置

ア 教職員配置の適正化

- ・ 教員定員計画に基づき、計画的な採用及び適正な教員配置を行うとともに検証を行う。

イ 職員の育成

- ・ 平成28年度末に、市派遣職員を1名減員し、プロパー職員1名を採用する。
※指標：札幌市派遣職員の引揚げ 1名/年
- ・ 各職員の研修受講歴を考慮しつつ、人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供する。
- ・ プロパー職員が、直接、市所管部局職員との事務折衝や情報・意見交換を行う機会を増やしていくことなどを通して、市派遣職員の減員に応じたプロパー職員の育成に努める。

(3) 教員評価制度に関する目標を達成するための措置

- ・ 前年度における教員評価制度の見直し事項を踏まえ、適切に評価を実施する。
- ・ 次年度に向けて、必要に応じて制度や運用の見直し・改善を行う。

2 事務の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

- ・ 効率的な事務執行に向けて、機構や職員配置を見直す。
- ・ 時間外労働を削減するための取組を継続するとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。

3 広報の充実にに関する目標を達成するための措置

- ・ リニューアル後の大学ウェブサイトを適切に管理・運営するとともに、よりよいサイトを目指し適宜更新・改良する。また、学内情報の共有促進や学内外への情報発信力を強化する



など、広報戦略の行動計画に基づき広報の充実に引き続き取り組む。

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

1 自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- ・ 外部資金の募集情報について、e-Rad⁵などの情報提供サービスを用いて教員に周知する。
※指標：教員向け情報提供 年3回実施
- ・ 科学研究費補助金の申請支援の強化策として、引き続き、以下の支援策を展開する。
 - －科学研究費補助金採択者の了承を得た申請書の公開
 - －原則全教員が参加する教員会議の場等を活用した申請の促進
 - －事務局内の科学研究費補助金申請支援担当者による申請書の確認
 - －科学研究費補助金獲得に向けたセミナーの実施
- ・ 寄附金等を活用した修学支援基金（開学10周年記念基金）について、多くの賛同が得られるよう募集活動を展開する。
- ・ 設置された「KANAえる基金」について、適切かつ効果的な運用を図るため、実施要領等を検討のうえ、速やかに活用できるよう体制を整える。

2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

- ・ 予算シーリングへの対応や戦略的な経費の確保に向けて、非常勤職員等人件費、施設管理経費、印刷製本費等の削減を図る。
- ・ 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

V 自己点検・評価に関する目標を達成するための措置

- ・ マネジメントサイクルに基づく自己点検・評価を実施し、半期（中期計画大項目第4、第5、第7にかかる計画は四半期ごと）の年度計画の進捗管理を行うとともに、学内に適時適切なフィードバックを行う。
- ・ 札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果を受け、改善が必要な事項については、適宜大学運営に反映させる。
- ・ 認証評価機関の評価項目及び評価基準に基づき、次回の認証評価の実施に向け必要な資料を作成、蓄積する。

VI その他業務運営に関する目標を達成するための措置

1 施設・設備の整備・維持管理に関する目標を達成するための措置

(1) 教育研究環境の充実にに関する目標

- ・ 施設整備費補助金による桑園キャンパス空調設備等更新工事を適正に実施する。
- ・ 芸術の森キャンパスG・H棟外壁ほか改修工事实施設計を適正に実施する。
- ・ 平成29年度施設整備費補助金の予算要求を行う。
- ・ 保全費用・内容の実施状況等を踏まえ適時フォローアップを図る。
- ・ 年間2,000冊程度の図書を整備し、図書館の蔵書の充実を図る。
- ・ 電子ジャーナル、データベースの購読契約に関わる方針に則り、引き続き契約内容を見直す。
- ・ 教育研究備品整備費（10,000千円）の活用について、検討・協議を行い、効果的に整備を進める。
- ・ 平成29年度の予算編成に向け、学内調整を行う。
- ・ 学内利用者に対する文献検索ガイダンス等を実施し、図書館利用に関する情報提供の機会を設ける。
- ・ 利用者サービス向上のための各種方策の実施及び検証を通して、図書館の利用を活性化する。

5 e-Rad（府省共通研究開発管理システム）

研究開発管理に係る一連のプロセス（応募受付→審査→採択→採択課題管理→成果報告等）をオンライン化し、適切な研究費の配分を支援する府省横断的なシステム。



- ・ 図書館業務システム入替えに伴い、札幌市立図書館との横断検索を実施し、機能の充実を図る。

(2) キャンパスの活用に関する目標を達成するための措置

- ・ 本学の財政状況の変化を踏まえ、キャンパス活用等に関するプラン骨子（H26年度策定）について財源確保の面から見直しを行う。

2 安全管理等に関する目標を達成するための措置

(1) 安全管理の徹底に関する目標を達成するための措置

- ・ 先に策定した危機管理基本マニュアル及び安全衛生管理に係る個別マニュアルについて、新任教職員等への周知を含め、適宜、教職員に対し情報発信を行うことにより、安全衛生リスク管理への意識向上を図る。
- ・ キャンパスハラスメントの防止に向けた周知、啓発等を行う。
- ・ キャンパスハラスメントに関する相談や申し出があった場合には適切に対応し、防止に向けた改善策を実施する。

(2) 災害時の対応に関する目標を達成するための措置

- ・ 先に策定した危機管理基本マニュアル及び災害等に係る個別マニュアルについて、新任教職員等への周知を含め、適宜、教職員に対し情報発信を行うことにより、災害等リスク管理への意識向上を図る。
- ・ 危機管理基本マニュアルを踏まえて、災害等に係る個別マニュアルの追加を検討する。

3 環境に関する目標を達成するための措置

- ・ 施設管理支援システム（CAFM）を活用し、施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発を行うなど、省エネルギー対策の取組を継続する。

※指標：エネルギー消費量 前年度比減

VII 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

別紙参照

VIII 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

2億円

2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

IX 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし。

X 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

XI 施設及び設備に関する計画

- ・ 経常的修繕 8,624千円
- ・ 芸術の森キャンパスG・H棟外壁ほか保全工事実施設計 1,998千円
- ・ 桑園キャンパス管理実習棟空調設備更新工事 104,002千円

（注）金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老

朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

XII 人事に関する計画

1 教職員配置の適正化

- ・ 教員定員計画に基づき、計画的な採用及び適正な教員配置を行うとともに検証を行う。
(再掲)

2 職員の育成

- ・ 平成28年度末に、市派遣職員を1名減員し、プロパー職員1名を採用する。(再掲)

3 研修の充実

- ・ 各職員の研修受講歴を考慮しつつ、人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供する。(再掲)
- ・ プロパー職員が、直接、市所管部局職員との事務折衝や情報・意見交換を行う機会を増やしていくことなどを通して、市派遣職員の減員に応じたプロパー職員の育成に努める。(再掲)

別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,464
施設整備費補助金	106
授業料等収入	470
受託研究等収入及び寄附金収入	36
補助金収入	33
その他収入	25
目的積立金取崩	64
計	2,198
支出	
教育研究経費	434
受託研究等経費及び寄附金事業費等	36
人件費	1,238
一般管理費	351
施設整備費	106
補助金事業費	33
計	2,198



2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,144
教育研究経費	415
受託研究等費	33
人件費	1,238
一般管理費	320
財務費用	4
減価償却費	134
収益の部	
経常収益	2,080
運営費交付金収益	1,441
授業料等収益	491
受託研究等収益	33
寄付金収益	3
補助金収益	33
資産見返運営費交付金戻入	43
資産見返寄附金戻入	3
資産見返物品受贈額戻入	7
資産見返補助金戻入	1
雑益	25
その他収益	25
純利益（純損失）	△64
目的積立金取崩益	64
総利益（総損失）	0

3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,291
業務活動による支出	1,985
投資活動による支出	129
財務活動による支出	84
翌年度への繰越金	93
資金収入	2,291
業務活動による収入	2,028
運営費交付金による収入	1,464
授業料及び入学検定料による収入	470
受託研究等による収入	33
補助金等による収入	33
寄付金による収入	3
その他収入	25
投資活動による収入	106
施設費による収入	106
前年度よりの繰越金	157



2 平成28年度決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,464	1,464	—	
施設整備費補助金	106	87	△ 19	(注1)
授業料等収入	470	467	△ 3	
受託研究等収入及び寄附金収入	36	19	△ 17	(注2)
補助金収入	33	23	△ 10	(注3)
その他収入	25	26	1	
目的積立金取崩	64	3	△ 61	(注4)
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	57	57	(注5)
計	2,198	2,146	△ 52	
支出				
教育研究経費	434	404	△ 30	(注6)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	36	17	△ 19	(注2)
人件費	1,238	1,261	23	(注7)
一般管理費	351	293	△ 58	(注6)
施設整備費	106	87	△ 19	(注1)
補助金事業費	33	20	△ 13	(注3)
計	2,198	2,082	△ 116	
収入-支出	—	64	64	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 一般競争入札により契約額が減少しました。
(注2) 受託研究の契約額が減少しました。
(注3) COC (地 (知) の拠点整備事業) の補助金が減少しました。
(注4) 支出実績に応じて目的積立金の取崩し額を変更しました。
(注5) 退職手当の増加分を前中期目標期間繰越積立金から取崩しました。
(注6) 光熱費単価の下落や保守契約の見直し等により減少しました。
(注7) 退職手当の支給や人事院勧告及び札幌市人事委員会勧告の本学への適用等により増加しました。



3 教職員数（平成29年3月31日現在）

1) 学部別教員数 (単位：名)

学	長	1
副	学 長	1
デ	ザ イ ン 学 部	32
看	護 学 部	43
教育支援プロジェクトセンター		1
合計		78

2) 職位別教員数 (単位：名)

		教授 (特任教授を 含む)	准教授	講師	助教 (特任助教を 含む)	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	13	6	5	2	0	26	24
	女	1	3	3	0	0	7	11
看護学部	男	1	2	0	1	0	4	38
	女	10	9	11	6	4	40	20
教育支援プロ ジェクトセンター	男	0	0	0	1	0	1	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		25	20	19	10	4	78	93

3) 職員数 (単位：名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	23	2	0	0	0	25
女	49	2	0	0	0	51
合計	72	4	0	0	0	76



4 管理職一覧表（平成29年3月31日現在）

役職名	教職員名
学長	蓮見 孝
副学長兼看護学部長	樋之津 淳子
デザイン学部長	細谷 多聞
看護学研究科長	松浦 和代
デザイン研究科長	城間 祥之
地域連携研究センター長	上遠野 敏
附属図書館長	山本 勝則
事務局長	大古 聡
事務局次長兼桑園事務室長	飯塚 和恵
事務局総務課長	東館 雅人
事務局地域連携課長	上田 理子
事務局学生課長	烝野 直樹
事務局桑園担当課長	布廣 成規



5 学生定員及び学生数（平成28年5月1日現在）

1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	85	10	360
看護学部	80	10	340
合計	165	20	700

2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	23	68	91
	2学年	30	63	93
	3学年	32	69	101
	4学年	20	72	92
看護学部	1学年	7	77	84
	2学年	8	77	85
	3学年	3	89	92
	4学年	9	85	94
助産学専攻科		0	9	9
合計		132	609	741

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	10	9	19
	2学年	11	7	18
看護学研究科 博士前期課程	1学年	0	15	15
	2学年	4	24	28
合計		25	55	80

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	2	1	3
	2学年	2	1	3
	3学年	3	3	6
看護学研究科 博士後期課程	1学年	0	1	1
	2学年	0	0	0
	3学年	2	5	7
合計		9	11	20



3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	0	0	0
看護学部	0	1	0	1
合計	0	1	0	1

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	1	4	5
看護学研究科	4	2	2	8
合計	4	3	6	13

6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (平成29年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構		その他	計
	第1種	第2種		
学部1年生	54	41	0	95
学部2年生	38	32	3	73
学部3年生	56	62	4	122
学部4年生	48	39	2	89
助産学専攻科	3	1	0	4
研究科(博士前期)1年生	6	1	0	7
研究科(博士前期)2年生	7	2	3	12
研究科(博士後期)1年生	1	1	0	2
研究科(博士後期)3年生	1	0	0	1
合計	214	179	12	405



授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	半額減免者	学長の定める額 免除者	計
学部1年生	前期	0	10	0	10
	後期	0	18	0	18
学部2年生	前期	0	17	4	21
	後期	0	17	0	17
学部3年生	前期	1	18	2	21
	後期	0	18	0	18
学部4年生	前期	0	24	3	27
	後期	0	25	0	25
助産学専攻科	前期	0	0	0	0
	後期	0	1	0	1
研究科（博士前期） 1年生	前期	0	0	0	0
	後期	0	3	0	3
研究科（博士前期） 2年生	前期	0	2	1	3
	後期	0	3	0	3
合計	前期	1	71	10	82
	後期	0	85	0	85



8 学生の入選・受賞（デザイン学部）

年月	氏名	内容	主催者
平成28年4月	郷家 智代 ニツ森 花織 橋本 阿子	「さっぽろ未来創生プラン」表紙デザイン 最優秀賞（郷家）・優秀賞（ニツ森、橋本）	札幌市（まちづくり政策局）
平成28年4月	金山 小桃	スポーツイベントの広報用イラスト（15種類） 制作	さっぽろ健康スポーツ財団
平成28年4月	泉 遥香 齋藤 瑞 坂野 由葵 山岸 愛咲美	「みんなの生涯学習カレンダー2016」イラスト 制作	北海道教育委員会
平成28年5月	柴崎 颯乃	「第21回サンスター文具プレゼンツ文房具ア イデアコンテスト」優秀賞	サンスター文具株式会社
平成28年6月	渡辺 智香子 朝倉 絵里 園山 茉生	「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクション プラン2015」表紙デザイン 最優秀賞（渡辺）・優秀賞（朝倉、園山）	札幌市
平成28年6月	菊地 冴菜	「滝野すずらん公園お土産セット」すずらんス トラップデザイン採用	滝野すずらん丘陵公園
平成28年7月	水石 公基 金山 小桃 堀田 露敏	ツール・ド・北海道2016（第30回大会）のポス ターデザイン 最優秀賞（水石）・優秀賞（金山、堀田）	ツール・ド・北海道2016
平成28年7月	大池 友 長部 さとみ 高橋 希政 松本 優奈 館野 杏奈	「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪 ルート」の活動PR、節電啓発及び住民の町内 会活動への参加啓発の一環としてのオリジナル うちわ制作	札幌市（南区）
平成28年7月	八木橋 ひかり	「日本ブックデザイン賞2016」学生の部 ブッ クジャケット・文庫判部門入選	秋山孝ポスター美術館長岡
平成28年8月	澤 成美	「2016年度精密工学会北海道支部学術講演 会・CAD/CGモデリングコンテスト」CAD/CG モデリングコンテストリアリティ部門 優秀賞	精密工学会北海道支部
平成28年8月	あそびlab 『オヘソ』	第10回キッズデザイン賞入賞	キッズデザイン協議会
平成28年9月	大池 友 長部 さとみ 高橋 希政 松本 優奈 櫻井 彩乃 館野 杏奈 宮町 志織	南区をテーマにした飲料自動販売機のデザイン 制作	札幌市立大学 北海道コカ・コーラボトリ ング㈱ 南区役所地域連携課
平成28年11月	塩田 茉利衣	TV番組「お願い!ランキング」内「親コゴロ」 コーナーのタイトルロゴ、オープニング映像制 作	テレビ朝日
平成28年11月	三上 拓哉 継田 彩乃 坂口 遥佳 吉田 香織	ISCA (International Students Creative Award) 2016「デジタルコンテンツ部門」2nd Prize	ナレッジキャピタル
平成28年12月	土屋 慶花	「シマフクロウちびの冒険」原画コンペティ ション最優秀	北海道シマフクロウの会
平成28年12月	榎本 ちひろ	平成28～30年度理容所・美容所衛生管理講習 会受講証デザイン採用	札幌市（保健福祉局）



年月	氏名	内容	主催者
平成28年12月	郷家 智代	平成29年4月からの札幌市敬老優待乗車証（敬老パス）ICカードデザイン採用	札幌市
平成29年1月	船山 哲郎 佐々木賢吾朗 松島 弘樹	平岸配水池上面の（仮称）「ウoppiーテニスパーク」内設置予定PR用水飲み場デザイン採用 最優秀賞（船山）・優秀賞（佐々木、松島）	札幌市（水道局）
平成29年1月	松岡 弥生 森 瑞紀 山岡 美紗希 桑田 奈々 吉田 香織 石岡 葉子 小田部 剛 山越 双葉 山代 修平	「第2回ウッドデザイン賞」授産施設木工製品 デザイン提案 奨励賞	ウッドデザイン賞運営事務局
平成29年1月	佐々木 優二	「日本建築学会大会学術講演発表会環境工学部門」日本建築学会大会学術講演会 環境工学委員会 若手優秀発表賞	日本建築学会
平成29年2月	前川 莉菜	「ANBD特別コラボレーションポスター展」 EXCELLENT AWARD	アジアネットワークビヨンド デザイン（ANBD）特別コラ ボポスター展実行委員会
平成29年3月	三上 拓哉	手話と音楽を組み合わせたシリアスゲーム 「Signism」が第3回ADADA Japan学術大会研 究奨励賞	第3回 ADADA Japan 学術大会 実行委員会
平成29年3月	三上 拓哉 継田 彩乃 坂口 遥佳 吉田 香織	手話と音楽を組み合わせたシリアスゲーム 「Signism」が2016アジアデジタルアート大賞 展FUKUOKA入賞	2016アジアデジタルアート大 賞展実行委員会

9 学生の課外活動

	公認団体
1	吹奏楽部「芸術の森音楽隊」
2	バスケットボール部
3	軽音楽部「halo」
4	美術部「noumenon」
5	YOSAKOIソーラン部「～真花～」
6	デザイン部「GNING」
7	服飾制作部「Alice」
8	写真映像部「SEED」
9	演劇部「デンコラ」
10	茶道部「Cha部」
11	野球部「ウップス！」
12	バレーボール部
13	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」
14	フットサルサークル「SCUギャラクシー」
15	創作活動サークル「創-KIZ-」
16	ダンスサークル「VOLUME」
17	バドミントンサークル
18	陶器文様研究会「ワレモノ」
19	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」
20	スポーツサークル「すぼさ」
21	アウトドアサークル「PEAK」
22	バドミントンサークル
23	アルティメットサークル「Fly☆Fly」
24	国際協力／ボランティアを考える同好会「AMIGO」
25	地域交流ボランティア同好会「act」
26	アクティ部「ナースポ」～ナース＋スポーツ（同好会）
27	ハンドメイド同好会「はらっば」
28	合唱同好会
29	ダンス同好会「ROOM」
30	天文観測同好会「スピカ」
31	SCUテニス同好会
32	空間作品制作同好会「The Global Workshop」
33	自由展示同好会「ぼぶら」
34	備災同好会「EZO学さいぼー」
35	バレーボール同好会
36	SCUスイーツ同好会「スイ研」
37	総合スポーツ同好会「Force」
38	アナログゲーム同好会「OFF」



10 後援会

後援会（平成19年2月発足）は、学生の福利厚生への推進等、学生生活の充実にに向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

（平成28年度）

役員	(会 長) 中田 保之 (副会長) 藤島 健志 (理 事) 今野 裕二、蛭谷 勝浩、大西 和恵、高橋 節子、滝波 武仁、佐々木 佳造、 宮浦 哲也、勝俣 信俊 (監 事) 土屋 節子、五十嵐 明
主な事業	・ 課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・ 就職対策（就職試験対策、就職講話、資格取得支援、国家試験対策） ・ 後援会報「SSA News」発行
後援会費	40,000円（ただし、編入学者は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
平成28年4月	平成28年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
平成28年4月	平成28年度学生生活ハンドブック
平成28年4月	2017大学パンフレット
平成28年5月	平成29年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
平成28年5月	平成29年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
平成28年5月	平成29年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
平成28年6月	平成29年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
平成28年6月	平成29年度入学者選抜要項（デザイン学部・看護学部）
平成28年6月	平成29年度看護学部3年次編入学学生募集要項
平成28年6月	平成29年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
平成28年6月	平成29年度学生募集要項（助産学専攻科）
平成28年6月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2016 札幌市立大学研究論文集第10巻第1号
平成28年6月	札幌市立大学研究・成果事例集2015
平成28年6月	平成27年度COC共同研究費研究成果報告書
平成28年7月	平成29年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
平成28年7月	札幌市立大学教員研究紹介2015
平成28年8月	平成29年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 特別選抜）
平成28年10月	平成29年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
平成28年10月	平成29年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成28年11月	平成29年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成29年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第10号
平成29年3月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2017図録）
平成29年3月	ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業 平成28年度成果報告書



12 施設

1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(平成29年3月31日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	83	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
COCキャンパス	764.43	764.43		

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・COCキャンパス

(施設配置図・校舎配置図)

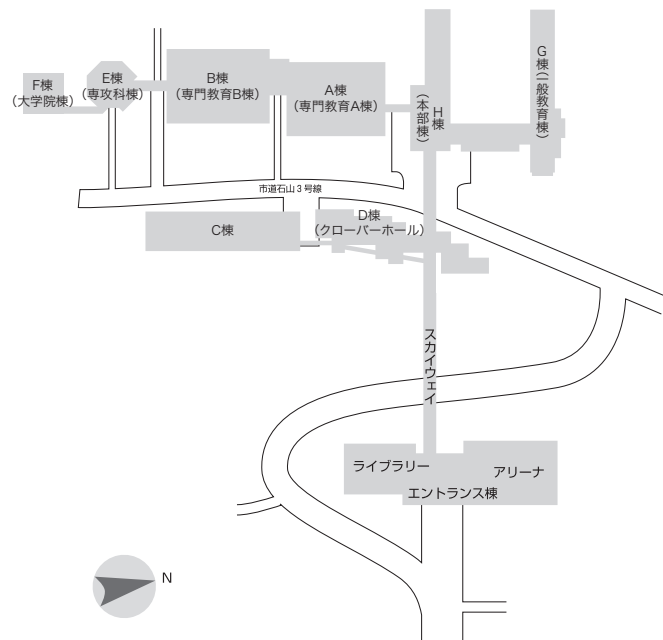
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



●桑園キャンパス

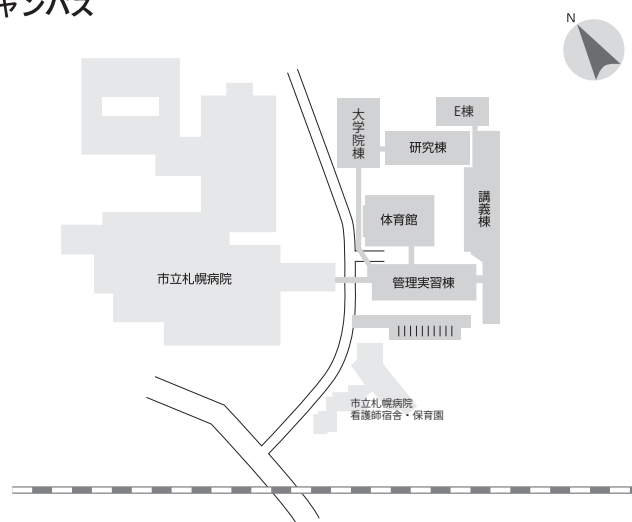
桑園キャンパス

〒060-0001

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506





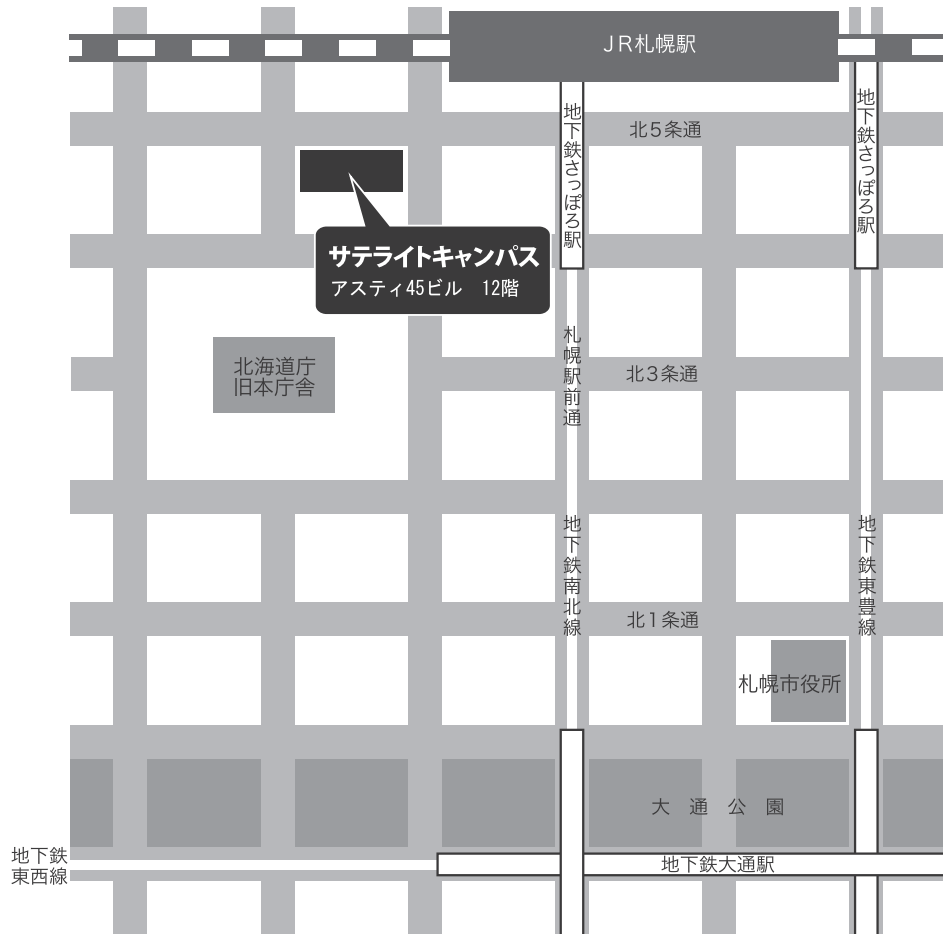
サテライトキャンパス

〒060-0004

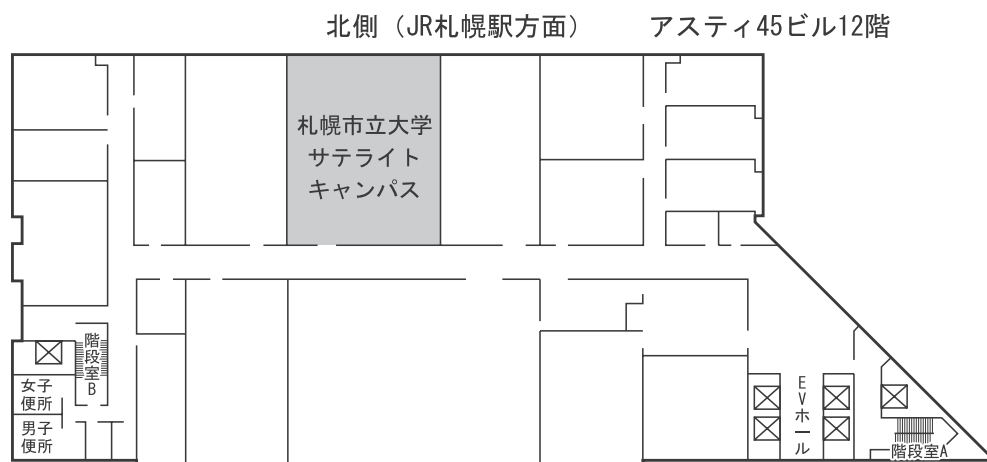
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





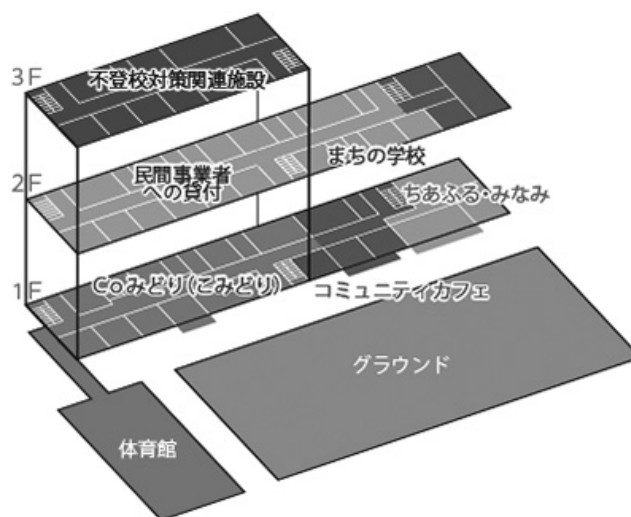
COCキャンパス

〒005-0014

北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2 まこまる（旧真駒内緑小学校）内

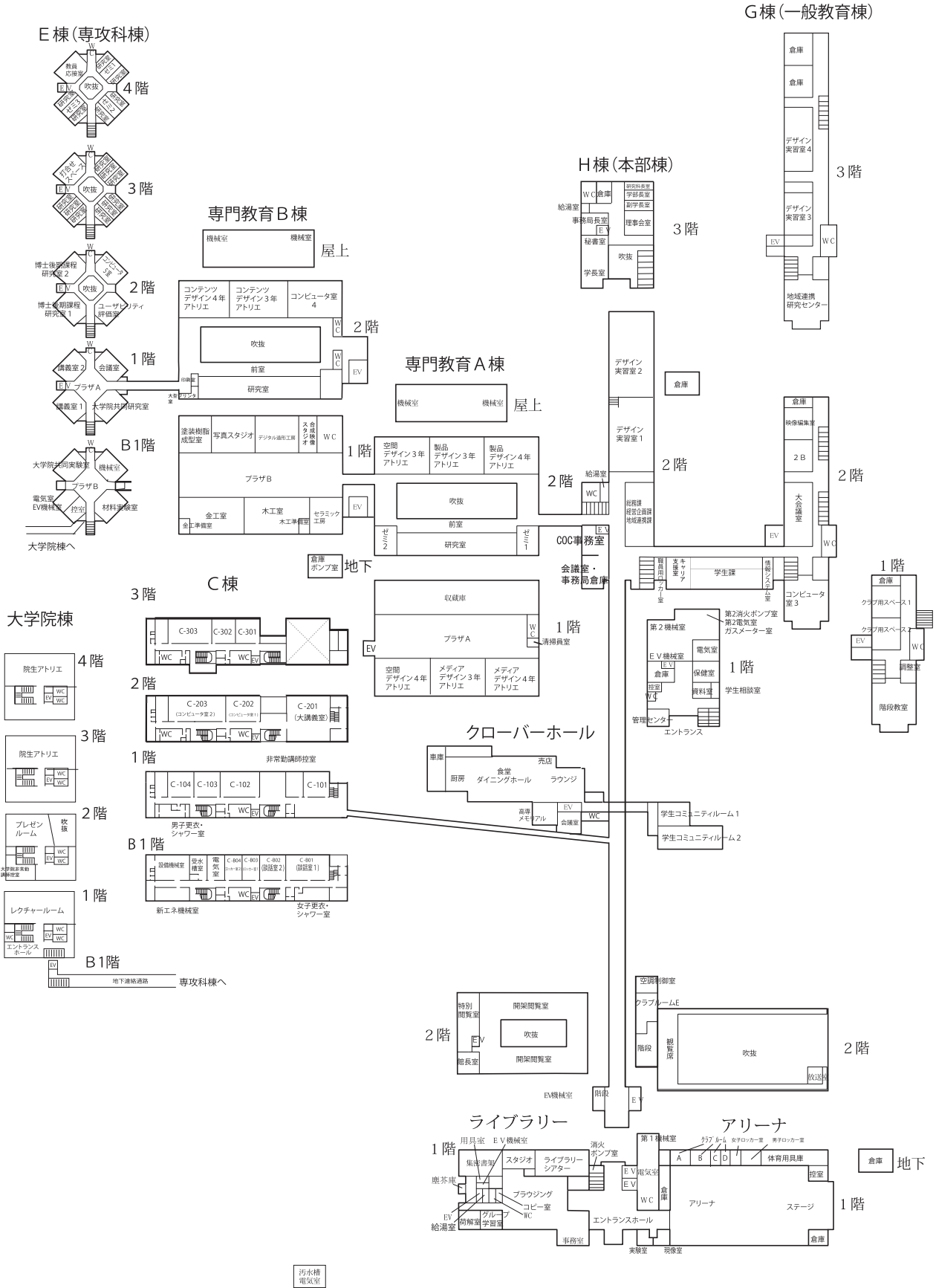
TEL : 011-596-6675

FAX : 011-596-6676



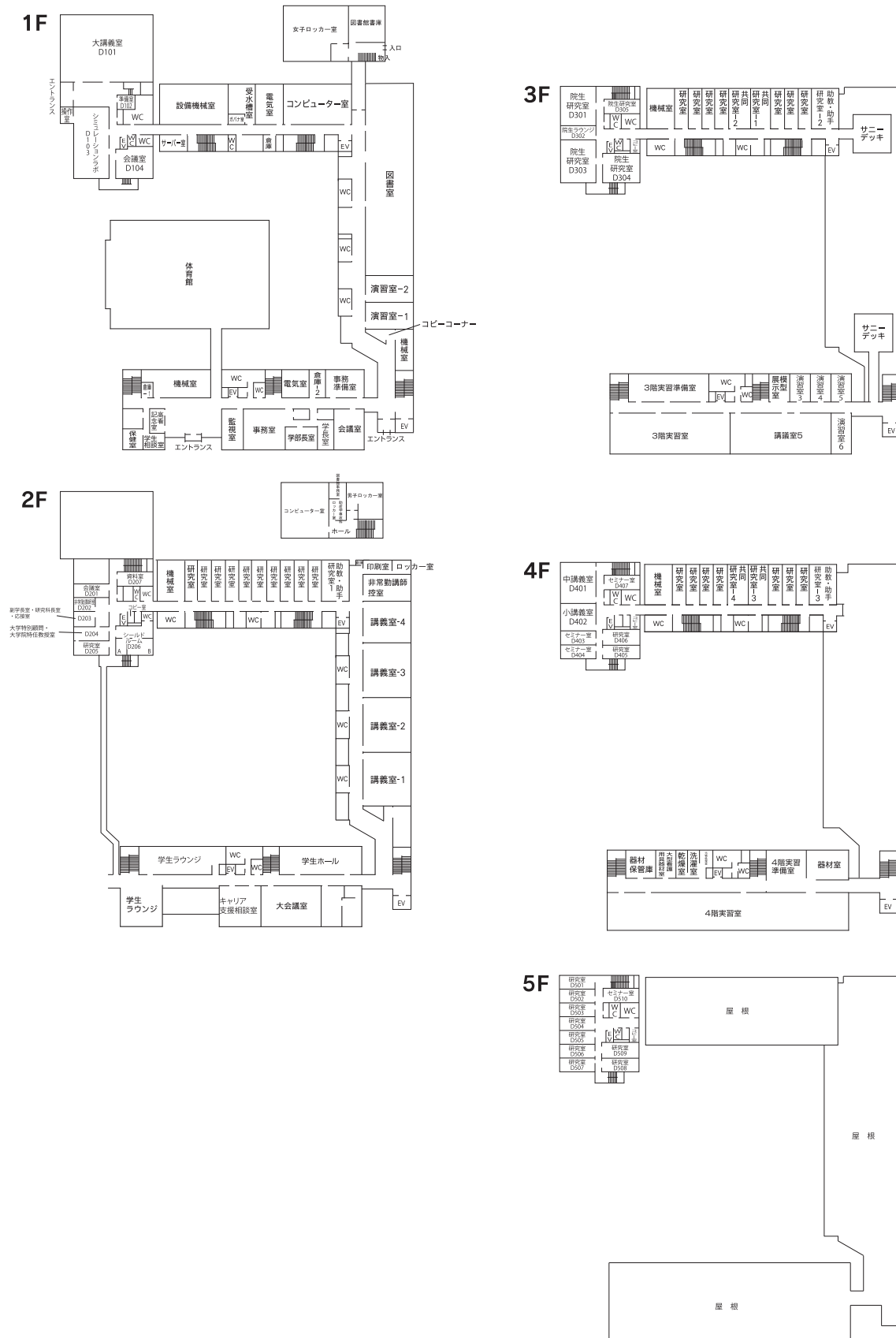


芸術の森キャンパス(校舎配置図)



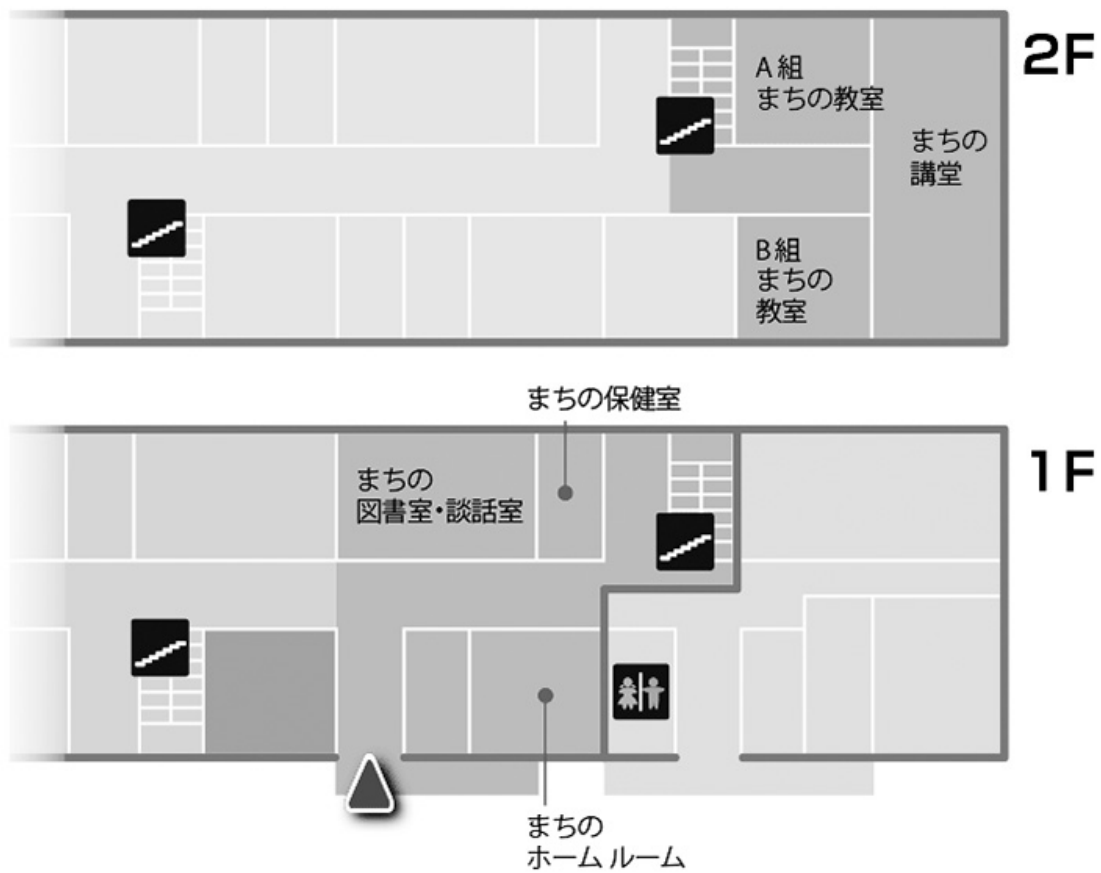


桑園キャンパス〈校舎配置図〉





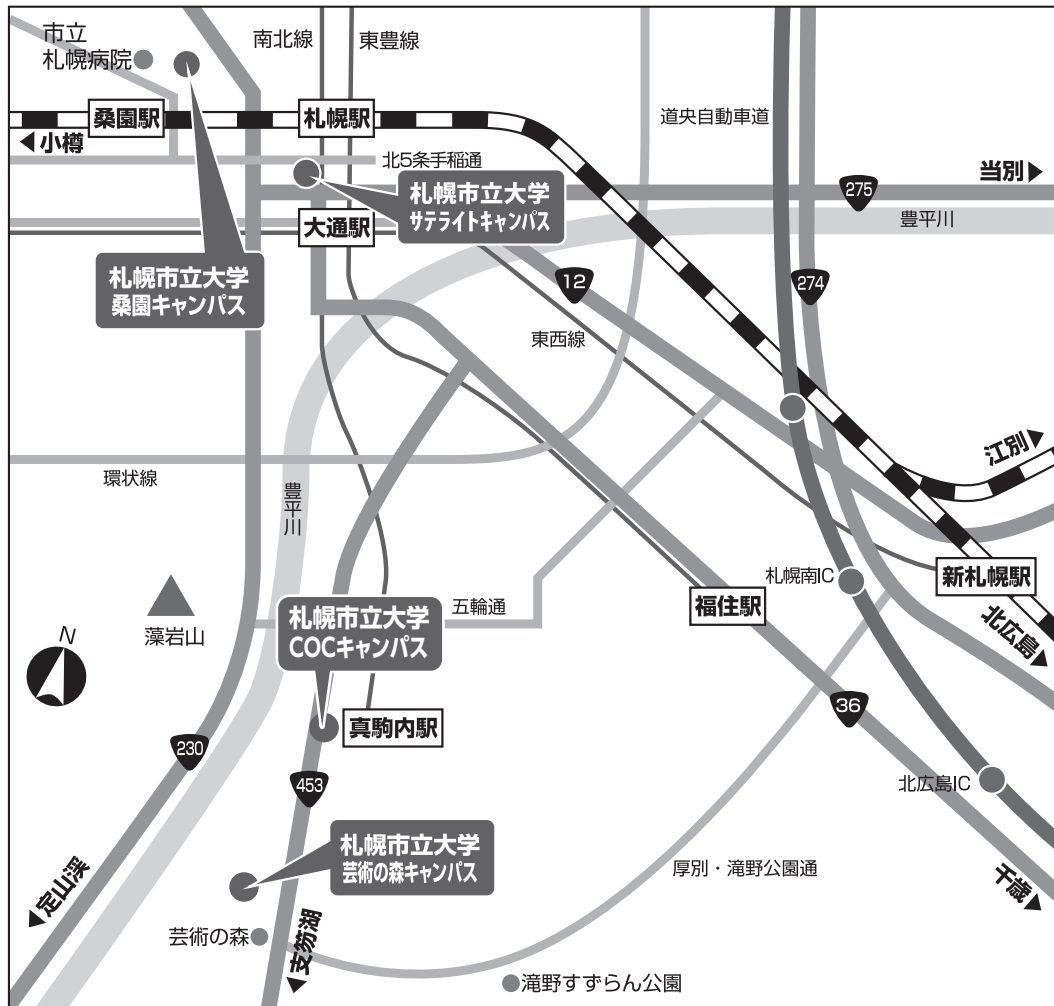
COCキャンパス〈校舎配置図〉



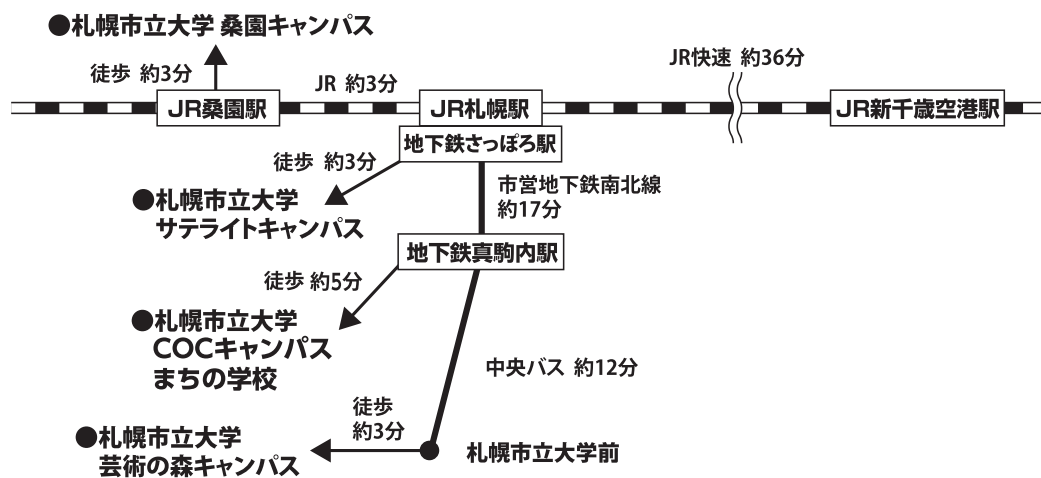


13 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内





14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞: 後藤優太・首藤翠 (デザイン学部 第4期生)
作曲: 堀 彩菜 (デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたずさえて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 後藤 優・首藤 翠
作曲: 堀 彩菜

Musical score for the first part of the song, including sections A and B. It features a vocal line and a piano accompaniment in G major, 4/4 time. Section A is marked *Allegro* and Section B is marked *mf*.

A
 からづよく かぜ が ぶ - っ - さ - え - て
 ら たな さ ぼ う を た ず さ - え - て
 あ と び だ - そ う つ ば - さ - り - び て ひ か り の さ ざ は り へ と - ぶ っ -

B
 よい か - ぜ に ぶ - か れ た ら ち こ な - り け っ て も お そ れ ら れ る 夢 つ づ け て ぶ っ -

Continuation of the musical score, including sections C and A. It features a vocal line and a piano accompaniment. Section C is marked *mf* and Section A is marked *Allegro*.

C
 に は つ く り あ げ る て が あ る ぶ っ - ら に は さ っ さ え あ え る て が あ る
 の ち - ら い の - か な た - に は ま っ と き み の - そ れ る せ か い が あ る
 ら か ら は へ つ へ - つ の み ち を 追 - っ -

A
 な し - そ ら の - し た に は い ま も は し り - つ づ け る
 か ま が い る ち ら へ

C
 に は つ く り あ げ る て が あ る ぶ っ - ら に は さ っ さ え あ え る て が あ る